

もう一度、  
自分の足で。



「もう一度、自分の足で歩きたい。」

1本の電話は、閉塞性動脈硬化症・バージャー病※の患者様からでした。

これらの病気のマカニズを科学的に明らかにし、治療に役立てるための医学研究を血管医学と呼びます。

血管医学研究推進機構では、患者様やもしかしたら・・・とお悩みの方に、  
様々な形で情報提供を行っています。

笑顔の明日に向けて。さあ、もう一度、自分の足で。

※ 閉塞性動脈硬化症やバージャー病とは、血管の老化が関連しておこる血管病です。

初期の症状は、一見整形外科領域と判断しがちですが、冷感やしびれから始まり、進行してくるとある一定の距離を歩くとふくらはぎや太ももが重くなってきたり、痛みを感じたりするようになります。ひと休みするとおさまり、再び歩くことができます。(間欠性跛行(かんけつせいはこう)と呼ばれています。)

